

## 県北部で「アカバネ病」(生後感染)を疑う症例発生 殺虫対策とワクチン接種で予防を!

8月下旬以降、島根県においてアカバネ病の「生後感染」が、品種を問わず1ヶ月齢から75ヶ月齢の牛で発生しています。広島県北部地域でも9月20日から29日までの間に島根県と同様の症状を示す牛の届出が家畜保健衛生所がありました。これらはワクチン未接種の牛を中心に和牛、F1、ホルスタインの生後0ヶ月齢から43ヶ月齢の牛で症状がみられ、臨床症状は発熱40℃以上、後肢麻痺、沈うつ、ふらつき、ナックルがあげられます。

アカバネ病は、ウイルスは蚊やヌカカによって媒介されることが知られていますが、組合員の皆さんには牛舎周辺への殺虫剤散布等の予防対策をお願いします。

また、酪農経営のリスク回避の為に、今年、異常産3種混合ワクチンを未接種の繁殖雌牛(経産牛)や育成牛、今後繁殖用として育成保留する雌子牛には、ワクチン接種が有効であると考えます。ワクチン接種を希望される方は、診療獣医師に相談ください。

なお、臨床症状が認められた場合は、最寄りの診療獣医師又は家畜保健衛生所にご連絡ください。

事業推進課

0824-6411071

## 酪農経営移譲推進支度金制度創設

去る10月14日開催の第7回理事会において酪農経営の自主・自立の意識を醸成し、堅実な酪農経営の推進を図ることにあります。この目的は、生産基盤維持にかかる経営移譲が円滑に進められ、後継者となりうる組合員が酪農経営の推進を図ることにあります。この制度の概要並びに申請に関しては次のとおりです。ご不明な点は申請窓口までご連絡下さい。

対象者：1)一般の場合(次の何れにも該当するもの)

- ①組合の組合員であること
- ②専ら酪農経営に1年以上従事する見込みのあるもの
- ③組合と生乳受託契約書を締結したもの

2)法人経営の場合(次の何れにも該当するもの)

- ①経営移譲をもって新たに代表取締役等の役員として登記手続きを終えたもの
- ②自ら代表となって、組合と生乳受託契約を締結
- ③自らが専ら酪農経営に1年以上従事する見込みがあるもの

支給額：10万円

申請：①支度金の支給を受けようとする者は、酪農経営移譲推進支度金支給申請書ならびに誓約書(様式第1号)を組合長に提出。

②法人の場合は役員登記手続きが完了した旨の確認として、登記簿謄本または抄本を添付して提出。

窓口：①申請窓口は管轄する事業所長、備北・南部地域は事業推進課長

②該当申請者に対する意見(就農状況等の現況報告)と受託販売契約書の写しを付して、組合長に上申。ただし、以前支給を受けた者が再度申請することはできない。

③組合長は、前項の申請書の内容を審査したうえで支度金の支給を決定し、組合長又は常勤理事が支給対象者を訪問し支給するものとする。

## 消したはず?決めつけしないで、もう一度 11/9~15「秋の火災予防週間」

秋は空気が乾燥し、寒さが厳しくなるにつれて、コタツやストーブなどの暖房器具を使い始めることから、住宅火災や森林火災が多く発生します。

牛舎周辺での野焼きや燃えやすいものは撤去する等、火災予防と火の後始末を徹底しましょう。

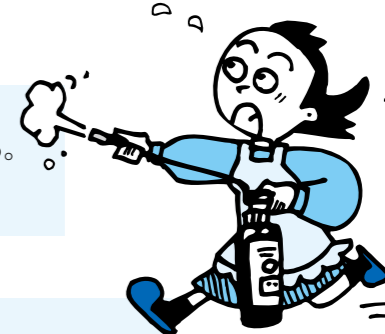
### <住宅防火 命を守る 7つのポイント>

#### ◆3つの習慣

- 1)「寝たばこ」は絶対止める。
- 2)「ストーブ」は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- 3)「ガスコンロ」等の側を離れる時は、必ず火を消す。

#### ◆4つの対策

- 1)逃げ遅れを防ぐために「住宅用火災警報器」を設置する。
- 2)寝具や衣類からの火災を防ぐために「防災製品」を使用する。
- 3)火災を小さいうちに消すために「住宅用消火器」を備える。
- 4)お年寄りや身体の不自由な人を守るために「隣近所の協力体制」を作る。



総務管理課

0824-6411071

## 9月2日 募金活動終了! 東日本大震災対策酪農団体協議会 募金総額 1億9千万円を贈呈

全酪連、日本酪政連、(社)全国酪農協会、(社)日本ホルスタイン登録協会で構成する東日本大震災対策酪農団体協議会は、総額191,651,403円を5月10日、5月30日に東北生乳販連へ合計1億2千6百万円、関東生乳販連へ合計5千4百万円、原子力発電所事故の影響を受けられた被災酪農生産者に対する支援として9月2日に福島県酪農協に1,165万円を贈呈されました。この募金活動は9月2日をもって終了され、以後は日本酪政連の政策要求等を中心に連携して活動されます。

事業推進課

0824-6411071

## 平成23年度第3四半期(10月~12月) 配合飼料等の価格改定のお知らせ 安定基金2,100円発動

### 1 広酪製造飼料の価格(主にTMR)

【平成23年度第2四半期との比較】

(改定幅はkgあたりの価格差)

(単位:円)

品目名	前期との比較改定幅
広酪コンプリー1号	0.0
広酪コンプリー2号	▲0.3
広酪コンプリー3号	▲0.5
広酪TMRタイプV2	▲0.1
広酪コンプリー4号	0.3
広酪TMRタイプT	0.5
サプリメント5号	▲1.0
TMRタイプA	0.4

### 2 系統組織の価格動向

【平成23年度第2四半期との比較】

(改定幅はkgあたりの価格差)

組織名称	配合飼料の改定幅	哺育脱脂粉乳
全酪連	▲0.8円~1.05円	▲8,000円/t
西日本くみあい飼料(株)	▲1.0円~1.2円	▲8,000円/t

### 3 安定基金の発動

【平成23年度第3四半期】

2,100円/tが発動されることとなりました。

(価格変動の主な理由: 乾草アルファの高騰・トウモロコシ、大豆粕の値下げ, その他)

# MILK O JAPAN™

in ひろしま

2011年11月26日(土) 10時～  
イオンモール広島祇園

(広島市安佐南区祇園3丁目2-1)



1F  
エキチカ  
コート

日本テレビ系列「スタードラフト会議」で注目の美魔女料理研究家!

**ちょいかワ料理研究家 中西しほり**

広島出身、フードコーディネーター・野菜ソムリエマイスター・食育指導士、保育士の資格をもつ

ステージ上でのPRと試食会

**酪農かあちゃんのレシピ集PR**

広島県産生乳100%からバターを作ろう

**簡単バター作り体験**

牛乳・乳製品に関するクイズを実施

**ミルク〇×クイズ**

牛乳・乳製品を使った  
ちょいかワ料理を  
会場で披露します!



1F  
スマイル  
コート

おいしい牛乳一杯飲んでかない!?

**酪農家の MILK BAR**

あなたの骨は大丈夫?

**骨密度測定コーナー (先着100名)**

若い世代の牛乳に関する誤解を解消する。

**牛乳・乳製品あれこれパネル展示**



3F  
イオン  
ホール

**牛乳市民講座&MILKスイーツ試食会**

子育てと牛乳について語る「広島のお母さんトークショー」と

広島県内の酪農家が経営するショップの「スイーツ試食会」を開催。

主催：広島県酪農業協同組合

共催：広島県牛乳普及協会・広酪メンバーズクラブ・

ひろらく女性グループ連絡協議会・

中国生乳販売農業協同組合連合会

協賛：社団法人中央酪農会議



締め切り  
平成23年  
10月31日

10月14日より—受付開始—  
3M事業23

～(事業規模頭数 200 頭・1 頭当たりの助成金を交付します)～

～(導入時期：平成23年11月～翌年2月末迄)～

～(分娩予定時期：平成24年1月～5月末迄)～

▼当組合の平成23年度生乳生産の上期実績は前年対比96.8%に止まりました。

▼原因は、2年続きの夏の異常な猛暑の影響による廃用牛の増加・受精の遅延等と分析しています。

▼この様に生乳生産基盤が揺らぎ、次年度の需要期生乳生産態勢を懸念する状況になっています。

▼こうしたなか、乳用初妊牛の産地価格動向等を鑑み、平成23年度の3M事業23の実施は、例年より導入時期と分娩時期を前倒して行います。

▼事業参加の利用を希望される組合員は、「3M事業23」の以下の要点等を確認のうえ、来る10月31日(月)迄に『生乳需要期対応酪農経営向上対策事業参加利用申請書(以下「申請書」という)』を提出下さいませようご案内致します。

▼既に10月14日付けで生乳出荷組合員個別に発送しております文書(受託販売生乳代金明細書に同封)には助成金交付の内容にも触れております。ご確認ください。

▼事業詳細は、事業推進課に問い合わせ下さい。

1. 「3M事業23」の要点

- ① 申請書の提出が必要。
- ② 乳用初妊牛は、組合が導入して組合の償却資産として計上する。
- ③ 導入時期は、平成23年11月～翌年2月末迄とする。
- ④ 分娩予定時期は、平成24年1月～5月末迄とする。
- ⑤ 各助成金は、申請頭数で按分算出し、導入経費から相殺する。

2. 『生乳需要期対応酪農経営向上対策事業参加利用申請書』の提出期限

平成23年10月31日(月)組合必着のこと

「JA全国専門畜産経営診断士」  
2名が合格

平成23年度JA全国専門畜産経営診断士資格  
認証試験の結果、名越道弘職員(左)、岡田友希  
職員(右)の2名が合格しました。受験者数は73  
名で合格者数47名。合格率は64.4%でした。

今後、この資格を活かして頑張ります。



役員室で隅屋専務から認証書を受け取る二人

事業推進課

80814164110711